

## 第 56 代理事長 退任のご挨拶



### 第 56 代理事長 山岡 毅

この度、第 56 代理事長を任期満了に伴い退任することになりました。

在任中、会員の皆様方には温かい御支援とご厚情を賜りました事に心より深く感謝申し上げます。

昨年、4 月の総会において理事長に選出され、第 55 代理事長向畑氏からバトンを引継ぎ、当初は理事長としての気質がなく、戸惑いながらの船出でしたが、時が経つのも早く、何とか無事に任期を終える事が出来ました。これもひとえに会員の皆様方のご指導、ご鞭撻ならびに御協力を頂いたからであると深く感謝しております。また、本会の活動が円滑に実施され、会員のためになるよう努めてまいったつもりでしたが、多々至らぬ点もあったかと思しますので、この場をお借りいたしましてお詫び申し上げます。

2009 年度のスローガンとして「伝統の継承と調和」を掲げさせて頂いてスタートし、若い会員の方々に青年クラブでの古き良い物を知って頂いて時代にあった物を模索し、研鑽して頂き、自分なりに伝えて行こうとやってきましたが、自分自身が改めてこの青年クラブの偉大さに気づかされ、会員の皆様方に教わる事が多かったような気が致します。今は役員並びに各事業に参加して頂いた皆様方には感謝の気持ちでいっぱいです。また、この一年間で、協賛会員を合わせまして 5 名の方がこの青年クラブにご入会頂きました。これもひとえに諸先輩方や会員の皆様方のご協力を頂いた賜物だと感謝しております。一方、残念なことに退会される会員様も 5 名おられ、会員拡大におきましてはまだまだ厳しい現状が続いております。

我々は大阪の菓子業の伝統を守り、時代の流れに沿って、新しい事にも積極的に取り組み、成長していかななくてはなりません。我が青年クラブは菓子屋の中でも多種多様な企業や問屋業、協賛会員とさまざまな方が所属されており、職場では得られないことを体験することができ、業界の中でもメリットが多い会だと思しますので、若い会員の方には、積極的に参画する事で、新たな発想を生み、自分自身が成長していける場だと思って事業に参加して頂く事を願います。

最後になりましたが、創造豊かで魅力のあるあふれる青年クラブの構築の為にも、今後とも会員様方には事業、運営に御協力いただくことを切にお願いいたしまして、理事長退任の挨拶と代えさせていただきます。